

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)		25年度
健康福祉総合計画事業							
支え合いの気持ちをつむぐ							
自発的・主体的な地域福祉活動に向けた啓発							
心のバリアフリーの推進				地域・障害	商工会議所、桜野小学校など計10団体に対し啓発講座を実施し、延べ797人が受講しました。また、「心のバリアフリーハンドブック」と啓発品（ロゴ入り名札）が完成しました。		継続実施
福祉学習・ボランティア学習の推進				地域・高齢	・施設介護サポーター養成講座を2施設で実施しました。 ・市民社協のふれあい福祉学習検討委員会により、市内の小・中学校で高齢者疑似体験や認知症サポーター養成講座などの学習会を実施しました。（計9校、延17回実施）		継続実施
市民が主体となる地域福祉活動の推進							
障害者団体やボランティア団体等の活動支援の充実				地域・障害	障害者団体やボランティア団体等の講演会活動を支援すると共に、障害者福祉センターにおいて、施設・機器貸出、ボランティアを育成するための各種講座を開催しました。		継続実施
市民社協との連携強化				地域	定期的に市（地域支援課）と市民社協で情報交換する場を持ち、連携強化を図りました。		継続実施
様々な「場」（活動、機会など）づくりの支援				地域	市民社協地域福祉活動計画において、重点課題に位置づけました。		継続実施
テンミリオンハウス事業の推進				高齢	2施設の運営団体を公募し、現運営団体が継続して行うこととなりました。		継続実施
地域福祉活動を推進する仕組みの検討				地域・高齢	市民社協地域福祉活動計画策定において検討を進めました。		継続実施
民生委員、赤十字奉仕団、地域社協の活動支援				地域	・民生委員については、5月に市報やPRイベントとして無料相談会を実施し、民生委員活動の広報に努めました。 ・地域社協については、引き続き活動費の助成を行いました。（市民社協）		継続実施
地域の人とのつながりづくり							
孤立予防の推進				地域・高齢・障害	武蔵野市孤立防止ネットワーク連絡協議会を開催し、ライフライン事業所、住宅事業所等との連携体制の構築を図りました。3事業所と協定締結しています。		継続実施
老人クラブへの活動支援				高齢	老人クラブの活動事業への助成、シルバーシティプラン推進事業等を行いました。		継続実施

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
世代間交流の推進				高齢	テンミリオハウスでの交流、境南小でのふれあいサロン及び4中、6中で高齢者パソコン教室を実施しました。(2校で延9日間43名受講。中学生助手延98名)	継続実施
防犯対策の充実				高齢・障害	友愛訪問時に75歳以上の高齢者に悪質商法や振り込め詐欺の予防啓発チラシを配布しました。	継続実施
安全・安心ネットワークの推進				障害	市報及び広報誌「つながり」等において、要援護者支援事業の周知を行いました(平成24年度新規登録者数22名)。	継続実施
緊急時対応システムの充実				障害	身体障害者の居宅に常時作動する緊急通報装置を設置し(設置者1名)、障害者の位置を探索するため、端末機を貸与しました(貸与者60名)。	継続実施
多種多様な健康づくり活動との連携強化				健康	「健康づくり活動情報誌」を活用し、市民への情報提供を実施しました。	継続実施
健康づくり活動における仲間づくりの推進				健康	健康づくりはつらつメンバーの集いを実施し、はつらつメンバー同士が知り合う場の提供を行いました。 「健康づくり活動情報誌」を活用や健康づくり推進員活動を通して、健康づくり活動における仲間づくりを行っています。	継続実施
地域の力を活かした健康づくり運動の推進				健康	民間スポーツクラブを活用した高齢者向け運動プログラムにおいて、プログラム終了後も運動が継続できるように関係機関と連携しました。	継続実施
災害時要援護者対策の推進						
安否確認体制の推進				地域	地域社協を単位として要援護者情報の更新及び支援者探しを実施するとともに、安否確認訓練や支援者説明会を実施しました。	継続実施
災害時要援護者対策の全体像の検討				地域	発動震度の変更を行いました。	継続実施
福祉避難所の充実				地域・高齢・障害	災害時備蓄品の分散配置及び福祉避難所の開設・運営マニュアルを作成しました。	継続実施

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度	
健康福祉総合計画事業							
誰もが地域で安心して暮らしつつげられる仕組みづくりの推進							
在宅生活支援のネットワークづくりの推進							
地域連携協議会(仮称)による課題解決に向けた仕組みの構築				各課	地域リハビリテーション推進協議会を設置し、その中で分野別会議として在宅支援連絡会を設置し、2つの課題について実務者間で協議を進めています。	継続実施	
在宅支援ネットワークの充実				高齢	地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議について検討しました。	継続実施	
家族介護支援事業の充実				高齢	ガス利用状況お知らせサービス利用料助成を実施しました。利用者4名。	継続実施	
移送サービス(レモンキャブ)事業の推進				高齢	1台につき1日約6.8回運行しています。(9台) 会員数は883名です。	継続実施	
地域自立支援協議会への活動支援				障害	くらす・はたらく・権利擁護・相談支援・障害当事者の専門5部会の活動の支援をするとともに、支援員の質の向上を図るための講演会・講習会等開催のための支援を行いました。	継続実施	
高次脳機能障害者や発達障害者等に対する支援の質的向上				障害	・高次脳機能障害関係機関連絡会を2回開催しました。 ・医療機関や福祉施設の職員など計151人が参加して事例報告、技術研修等を行いました。	継続実施	
医療ネットワークづくりの支援				健康	武蔵野赤十字病院の三次救急機能を維持し、インフルエンザの流行による患者の増加に対応するため、平成25年2月10日～3月10日の休日診療所と調剤薬局をそれぞれ2か所増設しました。	継続実施	
市民の地域医療に関する理解の促進				健康	健康講座による救急法の教育や、母子健康手帳交付時に救急受診ガイドの案内カードの配布を行っています。	継続実施	
相談機能のネットワークの強化				地域・障害	在宅支援連絡会において事業所間の関係づくりを強化しています。平成24年10月1日付で、基幹相談支援センターを市直営で設置しました。地域活動支援センターとともに、相談支援体制の強化を図りました。	継続実施	
情報提供・情報収集の仕組みの構築				地域	適宜情報提供、情報収集は行っていますが、仕組みの構築には至っていません。	検討	
財政援助出資団体との連携強化				地域	健康福祉部関連法人会議を4回開催し、情報共有を図りました。	継続実施	
障害ケアマネジメントの標準化と推進				障害	地域自立支援協議会相談支援部会と連携し、障害ケアマネジメントについて検討を重ねました。	継続実施	
地域活動支援センターの機能の充実				障害	月1回の定例会議において、センター機能の再確認とともに、基幹相談支援センターとの連携体制について協議しました。	継続実施	
情報保障の充実				障害	・手話通訳者等の養成及び普及を図りました。 ・窓口到手話通訳者を配置しました。	継続実施	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
サービス提供事業所の参入促進				障害	・市内3事業所を指定特定相談支援事業所として指定しました。 ・東京都の相談支援専門員研修を積極的に事業者に案内しました。	継続実施
自立生活体験の充実				障害	「井の頭はうす」で実施しました。	継続実施
サービスの利用促進				障害	特にサービスにつながりにくい精神障害のある方への訪問を行いました。件数：実人数470人(105人増) 延682人(95人増)：()内は23年度との比較。	継続実施
地域生活支援事業の充実				障害	知的ガイドヘルパー養成研修2回、同行援護従業者研修1回、同行援護従事者レベルアップ研修を新規に1回実施しました。 日常生活用具の品目について、視覚障害者の情報機器の見直しを行いました。	継続実施
障害児への支援						
児童発達支援センターを中心とした地域療育システムの構築				障害	ハピットの相談員1名が東京都相談支援専門員の研修を修了(資格取得)しました。	継続実施
保育園・幼稚園における障害児保育の支援				障害	ハピットでは施設巡回、ティーチャーズトレーニング2回、地域支援講習会(11/30、50名参加)を実施しました。	継続実施
母子保健・子育て・教育部門と療育部門が連携した就学支援事業の推進				障害	就学支援シートの活用を図りました。	継続実施
特別支援教育・発達障害児(者)の相談事業等との連携強化				障害	教育支援センターとハピットの意見交換会を実施(1回)しました。	継続実施
放課後対策の充実				障害	日中一時支援事業所、放課後等デイサービス事業所等との情報交換を行いました。	継続実施
認知症高齢者施策の推進						
相談事業の充実				高齢	認知症相談事業を実施しました。相談者85人。	継続実施
早期発見・早期診断のための受診・サポート医システムの推進				高齢	「もの忘れ相談シート」の定着利用について協議しました。	継続実施
認知症疾患医療センターとの連携				高齢	北多摩南部地域認知症連携会議を開催しました。	継続実施
普及・啓発の推進				高齢	・サポーター養成講座：各地域で60回、一般向けの講座5回、他5回を開催しました。 ・フォローアップ講座：各地域で10回開催しました。 ・サポーター養成講座の講師を増やす為、メイト養成講座を1回開催しました。また、地域の住民と協働し認知症の方への声かけ講座をモデル事業として実施しました。	継続実施
在宅生活支援の充実				高齢	認知症高齢者見守り支援事業を実施しました。登録者数29人。	継続実施

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度	
健康福祉総合計画事業							
権利擁護事業・成年後見制度の利用促進と現状を踏まえた事業の見直し							
権利擁護事業・成年後見制度の利用の促進				地域・高齢・障害	成年後見推進機関である福祉公社への事業費補助を行ったほか、市長申立てを7件実施しました。	継続実施	
市民後見人の育成				地域	東京都実施の社会貢献型後見人養成講習に3名参加しました。市独自の市民後見人育成については、今後の検討課題です。	検討	
虐待防止の推進				地域・高齢・障害	・高齢者・障害者虐待防止連絡会議を開催します。(3/14予定) ・平成24年10月1日付で、虐待防止センターを障害者福祉課内に設置しました。地域自立支援協議会と連携し、市民啓発、支援者研修等虐待防止に取り組んでいます。平成25年1月30日には、市民向け啓発講演会を開催しました。(87名参加)	継続実施	
福祉資金貸付制度の見直し				高齢	有識者による「福祉資金貸付制度見直し検討委員会」を設置し、制度の在り方を検討しました。	継続実施	
生活困窮者への支援							
様々な制度の活用				生福	住宅手当支給事業及び低所得者・離職者対策事業を実施しました。 住宅手当支給事業実績(25年3月末) 39人 延べ193月 10,592,700円 低所得者・離職者対策事業(25年3月末) 受験生チャレンジ貸付 74件	継続実施	
障害者総合福祉法(仮称)への取組み							
障害者自立支援法からのスムーズな移行支援				障害	国が実施した難病患者等の障害程度区分認定調査モデル事業に協力し、実施に向けてのアンケートに回答しました。	継続実施	
誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進							
子どもの健康をまもる施策の推進							
妊産婦への支援の充実				健康	母子健康手帳交付時のアンケートを変更し、支援の必要な妊婦の早期発見と支援を充実しました。	継続実施	
母子保健事業の推進				健康	要支援家庭の早期発見に努め、個別支援を充実しました。	継続実施	
学校保健との連携強化				健康	市内中学校を対象に、薬物乱用防止に関するポスター、標語の募集を行い、ポスターは262点、標語は594件の応募がありました。	継続実施	
小児・産婦人科救急医療の充実				健康	武蔵野赤十字病院に補助金を支出し、24時間365日の小児救急医療体制、及び産婦人科救急医療の確保に努めています。	継続実施	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度	
健康福祉総合計画事業							
予防を重視した健康施策の推進							
予防を重視した健康診査の推進				健康	特定・後期高齢者・若年層健康診査を実施しました。特定保健指導については委託先を民間事業者に変更し実施しました。	継続実施	
市民の生活習慣に関する意識啓発				健康	健康診査の動奨通知等を通して、受診の動機づけと意識啓発に努めました。	継続実施	
がん検診の充実				健康	受診率向上を目的にがん検診に関する意識調査を市民5,000人に発送し、2,099人より回答を得ました。	継続実施	
がん検診の精度管理の推進				健康	予防に効果的ながん検診を実施するため、国の指針に沿ったがん検診が実施できるよう、関係機関との調整を行っています。	継続実施	
武蔵野健康づくり事業団との連携による一次予防の充実				健康	武蔵野健康づくり事業団との連携し、各種健康づくり支援事業を実施しています。	継続実施	
喫煙対策の推進				健康	禁煙を希望する市民が禁煙外来等、禁煙プログラムにつながるよう周知方法等を検討しています。	検討	
予防接種における疾病予防の推進				健康	不活化ポリオ、四種混合等新たに定期接種化された予防接種を混乱なく実施しました。	継続実施	
介護予防事業の見直しと高齢者の健康づくりの推進				健康・高齢	・生活機能チェックリストをベースに「閉じこもり、うつ」などのリスクのある高齢者を対象とした介護予防講習会を実施しました。合わせて健康づくり事業のPRを行いました。 ・介護予防事業の見直しのため、部内ワーキングの設置を検討しています。	継続実施 検討	
社会活動センター事業の推進				高齢	自主グループ作りに向けて、申請書等の見直しを行いました。	継続実施	
食育の推進							
「食」に対する市民意識向上への取組み				健康・高齢	・高齢者食事学事業を実施しました。 ・標語募集（応募数 小学校152名 中学校323名）等、市民の参加できる事業を実施したほか、庁内食育担当連絡会議を2回開催しました。	継続実施	
家庭における食育の推進				健康	乳幼児を持つ家庭の食育をテーマに「食育講演会」を実施しました。	継続実施	
学校における食育の推進				指導・教育支援	・栄養士・調理員がクラスを訪問し、栄養指導等を行いました。 ・給食で季節の行事食を提供し、伝統的な食文化を伝えました。 ・学級担任が総合的な学習の時間をはじめ、社会科や生活科、家庭科の授業で、栄養士と協力して食の指導を行いました。	継続実施	
地域における食育の推進				健康	「Musasinoごちそうフェスタ 物産・逸品市」に参加し、武蔵野市の「食」に関するクイズと食育に関するアンケートを行いました。	継続実施	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度	
健康福祉総合計画事業							
こころの健康づくり							
メンタルヘルスに関する市民の意識の向上と知識の普及				健康・障害	・市民こころの健康支援事業において、テーマ講座を2回、出前講座を5回開催しました。 ・民生委員・児童委員を対象にゲートキーパー研修を実施し、意識の向上に努めました。(平成24年度3回99名参加)	継続実施	
相談窓口・相談機関の連携強化				健康	庁内ゲートキーパー研修を3回実施しました(1回目41名、2回目33名、3回目53名参加)。	継続実施	
こころの健康相談事業の充実				障害	市民に対する広報に努めるとともに、実施者に対する定期ヒアリングを継続し、事業内容のチェックを行いました。(12月末現在電話相談数76件、面接相談数9件)	継続実施	
誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり							
高齢者・障害者の活動支援の促進							
キャリア活用による社会貢献活動の推進				地域・高齢	・6月にお父さんお帰りのパーティーを開催、20以上の団体が参加しました。 ・毎月第2土曜におとぼサロンを開催し、平均約20名の方が参加しています。	継続実施	
各種講座のメニューの多様化				障害	障害者福祉センターの地域活動支援事業において障害者向けの各種講習会を実施しました。出来るだけ多くの方が参加できるように講座のメニューや会場、開催日時などを工夫しました。	継続実施	
自主グループへの支援				障害	知的障害者を対象とした講習会「絵の会」が平成24年度で終了し自主グループへ移行の予定です。移行後は活動場所の提供などの支援を実施していく予定です。	継続実施	
余暇活動の充実				障害	生涯学習振興事業団などで障害者も参加できるスポーツ講座などを検討中で25年度には実施予定です。	継続実施	
外出支援の充実				障害	・知的ガイドヘルパー養成研修2回、同行援護従業者研修1回、同行援護従事者レベルアップ研修(24年度新規)年1回をそれぞれ実施しました。 ・リフトタクシー3台の運行に際して、事業費の一部を支援しました。 ・三鷹駅北口の総合案内板の設置については、様々な障害のある人に配慮して福祉の専門職と連携の上、仕様を決定しました。今後も新たに設置するサイン等については同様に進めていきます。	継続実施	
引きこもりサポート事業の充実				障害	家族セミナーを7回、市民向けフォーラムを2回開催しました。また「若者による活動報告プログラム」を新規に実施しました。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)		25年度
健康福祉総合計画事業							
高齢者・障害者の雇用・就労支援							
就労支援の充実				高齢	シルバー人材センターに運営費の補助を行うとともに、市の事業(日常生活支援支援事業・市報全戸配布等)を委託し就労を支援しました。		継続実施
就労支援ネットワークの充実				障害	障害者就労支援ネットワーク会議を2回開催しました。		継続実施
障害者庁内実習の充実				障害	10月22日～11月2日・2月18日～3月1日の間で2回、各回2名計4名で実施しました。		継続実施
職場体験実習先等の確保				障害	6事業所でのハートフル実習を実施しました。また、実習を体験した当事者及び受け入れ事業者によるパネルディスカッションを実施しました。		継続実施
就労支援事業所の整備推進				障害	特別支援学校卒業予定者数の把握及び就労意向調査を行い、卒業者数に見合った就労先の確保に努めています。また就労事業所の家賃を補助しました。		継続実施
障害者就労支援センターにおける支援の質的向上				障害	職員研修や各種研修会への参加を通して支援の質的向上を進めました。		継続実施
住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備							
サービスの質の向上							
福祉人材の育成				各課	各種研修会・講習会を実施しました(重点的取組み(資料1参照))。		継続実施
苦情対応・相談機関の充実				地域・高齢	・福祉全般の苦情対応機関である福祉公社では、1件の苦情がありました。また、ホームページにてPRを行いました。 ・高齢者支援課内に専門資格を有し、実務経験3年以上のサービス相談調整専門員を配置し、相談、苦情に対応しています。		継続実施
第三者評価受審の促進				高齢・障害	・高齢者分野では、事業者第三者評価の受審費の助成を行いました。 ・障害者分野では、日中活動系サービス事業者及び放課後等デイサービス・児童発達支援事業者の計11事業者が受審しました。		継続実施
在宅生活を支えるサービスの充実				高齢	・24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護は4月サービス提供を開始しました。 ・小規模多機能型居宅介護整備事業者を公募しましたが応募はありませんでした。		継続実施
居住安定への支援				高齢	民間賃貸住宅入居支援制度、マイホーム借り上げ制度などに取り組んでいます。		継続実施

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
介護サービスの適正化				高齢	居宅介護支援事業者への実地指導を6事業者実施及び、居宅介護支援事業者及び訪問介護事業者への情報提供を含む集団指導を全体研修会や地区別ケース会等において実施し、介護サービスの適正化の視点での支援を行いました。 ・第1回ケアマネジャー全体研修会：平成24年5月30日143名参加 ・第2回ケアマネジャー全体研修会：平成25年1月10日127名参加 ・第1回訪問介護事業者連絡会議研修：平成24年7月27日69名参加 ・第2回訪問介護事業者連絡会議研修：平成25年3月7日68名参加 ・居宅介護支援事業者・訪問介護事業者合同研修会：平成25年2月27日197名参加	継続実施
保険者機能の強化				高齢	介護サービス担当を介護保険係内へ組織変更し、保険者としての指導監督機能を強化しました。	継続実施
サービス提供事業所の育成及び指導監督				障害	東京都が実施する事業者への集団指導や実地指導に同席しました。	継続実施
サービス基盤の整備						
くぬぎ園など「公共施設配置の基本的な方針」に基づく施設の整備				高齢・障害	くぬぎ園は26年度で廃止することを市として決定しました。その後の活用については東京都と協議継続中。入所者の住替え支援を行っています。	継続実施
グループホーム・ケアホーム等の整備推進				障害	10月に「関前桜寮」2名分定員を増やしました。また25年2月「吉祥寺泉寮」が新規開所(10名)しました。	
バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進				まちづくり	・特定事業計画については、24年度末にすべての事業者が作成を完了しました。 ・鉄道事業者と連携し、24年度にJR吉祥寺駅及び三鷹駅のホームにJIS規格点状ブロックが整備され、これにより、現在、駅舎改良工事中の京王電鉄吉祥寺駅(25年度整備完了予定)を除き、市内3駅の全てのホームに内方線付きJIS規格点状ブロックの整備が完了しました。	継続実施
歩行者を対象とした公共サインの整備				まちづくり	市内の公共空間に設置される歩行者用の公共サインの統一性を図ることを目的とし、公共サインガイドラインを策定するとともに、公共サイン管理台帳を整備しました。 三鷹駅北口駅前広場には、ガイドラインに準拠した総合案内板(点字・音声案内付き)を設置しました。	継続実施

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
バリアフリーマップの改定				地域	市民社協第3次地域福祉活動計画中間報告書に今後検討する旨を記載しました。	検討
多様な危機への対応の強化						
健康危機への対応						
非常事態下における市民の健康維持の支援				健康	総合防災訓練(医療訓練)の反省会を参加関係機関と実施しました。	継続実施
健康危機管理に関する普及・啓発				健康	6月1日～9月15日号市報において熱中症の注意喚起を行い、公共施設のロビーなどを、外出時の休憩に利用できるよう調整を行いました。	継続実施
新型インフルエンザへの対応				健康	武蔵野市医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野赤十字病院、東京都多摩府中保健所と新型インフルエンザに関する意見交換会を実施しました。	継続実施
第5期介護保険事業計画						
介護保険事業の運営						
人口と被保険者数の推移				高齢	総人口 138,867人(135,554人) 65歳以上人口 29,123人(27,921人) 被保険者数(40 - 64歳は人口) 40 - 64歳 46,977人(46,079人) 65 - 74歳 13,966人(13,225人) 75 - 84歳 10,589人(10,386人) 85歳以上 4,809人(4,649人) 高齢化率 21.0%(20.6%) 後期高齢化率 10.9%(10.9%) *人口は市民課データ H25.3.1現在、()内はH24.3.1現在データ	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策																																																																						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度																																																																
健康福祉総合計画事業																																																																						
要支援・要介護認定者数の推移					<p>第1号被保険者認定者数 5,764人(25年3月末) 前年同期5,523人</p> <p>(内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年3月末</th> <th>前年同期</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>528人</td> <td>506人</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>601人</td> <td>572人</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>1,122人</td> <td>967人</td> <td>1.16</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>1,153人</td> <td>1,163人</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>862人</td> <td>872人</td> <td>0.99</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>824人</td> <td>778人</td> <td>1.06</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>674人</td> <td>665人</td> <td>1.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2号被保険者認定者数 138人(25年3月末) 前年同期134人</p> <p>(内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年3月末</th> <th>前年同期</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>22人</td> <td>19人</td> <td>1.16</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>32人</td> <td>38人</td> <td>0.84</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>21人</td> <td>18人</td> <td>1.17</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>17人</td> <td>22人</td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>33人</td> <td>26人</td> <td>1.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定者数合計 5,902人 前年同期5,657人 (対前年同期比 4.33%増)</p> <p>前年度比4%前後の増で推移している。今後後期高齢化率が増加するに伴い、増加率が上昇する見込みである。</p>		平成25年3月末	前年同期	対前年度比	要支援1	528人	506人	1.04	要支援2	601人	572人	1.05	要介護1	1,122人	967人	1.16	要介護2	1,153人	1,163人	0.99	要介護3	862人	872人	0.99	要介護4	824人	778人	1.06	要介護5	674人	665人	1.01		平成25年3月末	前年同期	対前年度比	要支援1	6人	4人	1.50	要支援2	7人	7人	1.00	要介護1	22人	19人	1.16	要介護2	32人	38人	0.84	要介護3	21人	18人	1.17	要介護4	17人	22人	0.77	要介護5	33人	26人	1.27	
	平成25年3月末	前年同期	対前年度比																																																																			
要支援1	528人	506人	1.04																																																																			
要支援2	601人	572人	1.05																																																																			
要介護1	1,122人	967人	1.16																																																																			
要介護2	1,153人	1,163人	0.99																																																																			
要介護3	862人	872人	0.99																																																																			
要介護4	824人	778人	1.06																																																																			
要介護5	674人	665人	1.01																																																																			
	平成25年3月末	前年同期	対前年度比																																																																			
要支援1	6人	4人	1.50																																																																			
要支援2	7人	7人	1.00																																																																			
要介護1	22人	19人	1.16																																																																			
要介護2	32人	38人	0.84																																																																			
要介護3	21人	18人	1.17																																																																			
要介護4	17人	22人	0.77																																																																			
要介護5	33人	26人	1.27																																																																			
介護予防事業の状況				高齢	運動機能の向上、栄養改善、口腔機能向上等、目的別予防事業を実施した。																																																																	

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
武蔵野市の介護保険給付の特徴				高齢	本市は、在宅サービス・施設サービスともに被保険者一人あたりの給付月額が全国平均を上回っています。これまでの在宅重視の施策の推進とともに、近年の施設整備により施設サービスも充実し、在宅サービス・施設サービスともに利用率が高いことが特徴です。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P94～P95))	
第4期介護保険事業計画の給付の検証				高齢	平成23年度決算において、審査支払手数料を除く保険給付費は8,451,233千円となり、対前年度比103.9%、計画値の93.4%となりました。認知症対応型共同生活介護は平成23年3月「マザースホームだんらん武蔵境」の整備により対前年度比175.5%の伸びとなりました。第4期事業計画期間においても、給付費が年々増加する結果となっています。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P96～P99))	
介護保険事業会計の推移				高齢	給付費の増加に伴い、法定負担割合で割り当てられる一般会計からの繰入金も上昇しています。今年度は保険料上昇の抑制に資するため、都より特例で交付された財政安定化基金交付金(92,936千円)全額を介護給付費に充当しました。介護保険事業会計平成24年度実績は9,410,278千円、保険給付費8,833,280千円(対前年度比106.2%・計画値96.4%)となっており、計画値とほぼ同一の数値となっておりますが、介護保険事業会計の推移は年々増加する結果となっています。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P100))	
第5期介護保険事業計画の展望と推計						
第5期介護保険事業計画の基本的方向性				高齢	できるだけ在宅生活を継続するためのサービスを重視し、地域密着型サービスの充実を図るとともに、介護費用の上昇が見込まれる中で、給付と保険料のバランスに配慮し、効率的・効果的にサービス基盤の整備を行っていきます。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、平成24年4月より整備し、25年3月末時点の登録者数は18名と利用者数は増加しています。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P101))	
介護保険の財源構造と保険料の推計方法				高齢	第5期介護保険事業計画期間の保険料の設定は、第4期事業計画期間における給付費の実績及び所得段階別被保険者数の推移に、第5期事業計画の基本方針及び新たに加味すべき要素を加え行っています。(武蔵野市健康福祉総合計画 第7章第5期介護保険計画2012 第2項(2)(P102～P113)の手順のとおり)	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
人口と被保険者数の推計				高齢	<p>『人口と被保険者数の推移』の欄を参照。 平成25年3月1日の推計値 65歳以上の人口 29,132人(外国人 128人を含む) 被保険者数(40 - 64歳は人口) 40 - 64歳 46,795人 65 - 74歳 13,914人 75 - 84歳 10,596人 85歳以上 4,861人 H24年度の65歳以上人口、高齢化率とも、ほぼ計画値どおりに推移しています。 平成24年7月9日、改正住民基本台帳法の施行と外国人登録法の廃止により統計方法が変更となったため、外国人数を人口に加えています。</p>	
要支援・要介護認定者数の推計				高齢	[認定者数の推移]に記載	

健康福祉総合計画2012
事業実施状況（平成24年度）

平成25年6月14日
健康福祉総合計画推進会議
資料2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度
健康福祉総合計画事業						
介護保険サービス事業量及び給付費の推計				高齢	<p>[居宅サービス]</p> <p>* 訪問介護：介護報酬改定に伴うサービス提供時間区分の見直しにより、一人当たりのサービス利用時間数の減少がみられる一方、利用回数及び受給者数の伸びがみられます。(12月審査分対前年比 利用時間数89.6%、利用回数101.2%、受給者数101.0%)</p> <p>* 通所介護：市内・近隣市の事業所開設及び要介護認定者数の伸びにより、事業量・給付費とも増加しています。(12月審査時点対前年比 109.9%、計画値1.3%増)</p> <p>* 訪問看護：医療ニーズの高まりとともに、介護報酬改定に伴う時間区分毎の報酬や基準の見直しにより、比較的軽度者の利用増加がみられ、給付費の伸びがみられます。(12月審査時点対前年比113.7%、計画値1.3%増)</p> <p>[地域密着型サービス]</p> <p>* 新規サービスである定期巡回・随時対応型訪問介護看護の請求審査実績は11名(12月審査分)となっており、利用者数の伸びとともに給付費の増加がみられます。</p> <p>* 平成19年度に開設された夜間対応型訪問介護は上記新サービス創設により給付費の減少を見込んだが、事業量・給付費ともに引き続き伸びており、12月審査時点で計画値の98.76%となっています。</p> <p>[施設サービス]</p> <p>* 施設整備はないものの、介護療養型医療施設の医療転換が進んでおらず、12月審査時点で4.28%計画値を上回っています。施設サービス全体としては12月審査時点で計画値の73.20%(計画値75.0%)となっており、見込み額とほぼ同一の推移となっています。</p> <p>[総括]</p> <p>給付費は介護報酬改定及び後期高齢化率の上昇に伴う認定率の増加により、対前年度比を上回る推移となっています。計画値との比較においては、12月審査時点において72.85%(計画値75.0%)の執行率となっており、ほぼ見込み値での推移となっています。</p>	
地域支援事業の実施				高齢	<p>生活機能評価チェックリスト未回答者に対して訪問事業を実施し、必要に応じて在宅介護支援センターへの紹介を行った。本年度から一次予防事業について事業会計を一本化し、幅広い意味での健康づくり事業に位置づけて開始し介護保険料への影響を抑えました。</p>	

長計施策																														
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(24年度実績)	25年度																								
健康福祉総合計画事業																														
第1号被保険者保険料の見込み				高齢	<p>介護保険料収納見込み(24年度調定 H25.5.24現在) (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納額</th> <th>収納率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度特別徴収</td> <td>1,620,431,700円</td> <td>1,620,431,700円</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>普通徴収</td> <td>277,808,300円</td> <td>250,609,500円</td> <td>90.21%</td> </tr> <tr> <td>現年度合計</td> <td>1,898,240,000円</td> <td>1,871,041,200円</td> <td>98.57%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越</td> <td>49,268,500円</td> <td>9,965,770円</td> <td>20.23%</td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td>1,947,508,500円</td> <td>1,881,006,970円</td> <td>96.59%</td> </tr> </tbody> </table>		調定額	収納額	収納率	現年度特別徴収	1,620,431,700円	1,620,431,700円	100.00%	普通徴収	277,808,300円	250,609,500円	90.21%	現年度合計	1,898,240,000円	1,871,041,200円	98.57%	滞納繰越	49,268,500円	9,965,770円	20.23%	総合計	1,947,508,500円	1,881,006,970円	96.59%	
	調定額	収納額	収納率																											
現年度特別徴収	1,620,431,700円	1,620,431,700円	100.00%																											
普通徴収	277,808,300円	250,609,500円	90.21%																											
現年度合計	1,898,240,000円	1,871,041,200円	98.57%																											
滞納繰越	49,268,500円	9,965,770円	20.23%																											
総合計	1,947,508,500円	1,881,006,970円	96.59%																											
低所得者への配慮																														
介護保険料の所得段階設定				高齢	<p>市民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得金額の合算額が120万円以下の方の段階を新設しました。 これによって、平成24年度は、1,440人(4.6%)の負担軽減が図られました。(25年3月異動分現在)</p>	継続実施																								
介護保険利用者負担額助成事業				高齢	<p>助成実人数は、平成24年度は969人(平成23年度898人)となり年々増加する結果となりました。平成24年度の助成実績は、25,025,788円(対前年度年比105.6%)となっており、負担軽減を図っています。</p>	継続実施																								
通所サービス利用者食費助成事業				高齢	<p>助成実人数は平成23年度803人から、平成24年度は838人となり、助成対象者が毎年増加する結果となっています。平成24年度助成実績は12,652,600円(対前年度比108.5%)となっており、低所得者の負担軽減を図っています。</p>	継続実施																								